☆ 予 防 接 種 ☆

それぞれの予防接種を実施する推奨時期は、お母さんから赤ちゃんにあげていた免疫効果の減少、感染症にかかりやすい年齢、かかった場合に重症化しやすい年齢などを考慮して設定されています。感染症からお子さんを守るために予防接種の効果と副反応をよく理解し、接種間隔を守って接種しましょう。

【予防接種の受け方】　予防接種のスケジュールはかかりつけ医に相談しましょう！　予防接種は体調が良いときに受けるのが原則です！

① 電話予約

予防接種の案内(予診票)が届いたら、接種年齢（月齢）を確認してから医療機関へ電話予約します。

②医療機関受診

接種当日の体調がいい場合は、母子手帳アプリで予診票の入力または紙の予診票を記入して母子健康手帳を持参して行きましょう。

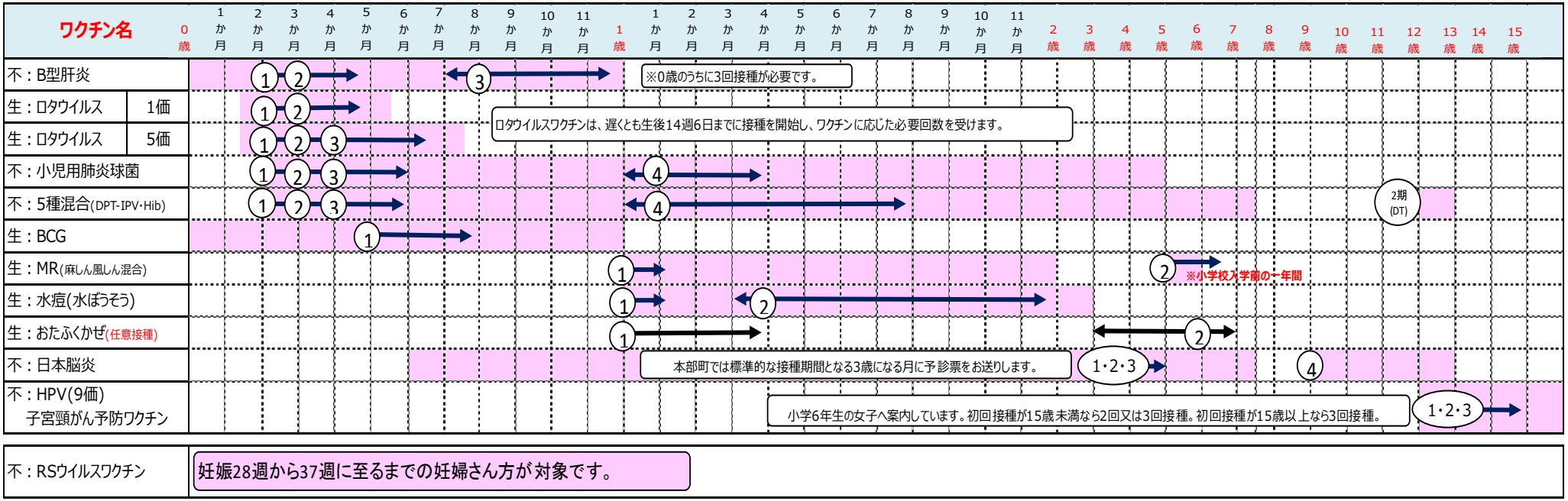
※接種当日の体調が悪い場合は、医療機関へ電話して予約を変更してください。

※必要な場合は、複数のワクチンを同時に接種することが可能です。かかりつけ医と相談しましょう

病気との間隔

突発性発疹，手足口病，伝染性紅斑、「かぜ」といわれるウイルス性疾患などでは治癒後1～2週間以上あける
風しん、水痘、おたふくかぜ、抗菌剤を必要とした細菌感染症では、治癒後2～4週間以上あける
麻しん 治癒後４週間以上あける

【予防接種スケジュール】



予防接種の接種間隔

注射生ワクチン

麻しん，風しん，麻しん風しん混合(MR)，BCG，おたふくかぜ，みずぼうそう　の予防接種を受けた方は…

27日以上の間隔をあけて

他の注射生ワクチン

麻しん，風しん，麻しん風しん混合(MR)，BCG，おたふくかぜ，みずぼうそう　の予防接種

本部町ホームページ　予防接種情報

母子手帳アプリ「母子モ」

Android用:
Google Playへ遷移

iOS用:
AppAtoreへ遷移